

村田町外部公益通報の処理に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、公益通報者保護法（平成16年法律第122号。以下「法」という。）の規定に基づき、村田町（以下「町」という。）において外部公益通報を適切に処理するために必要な事項を定めることにより、通報者の保護を図るとともに、事業者の法令遵守を推進することを目的とする。

(定義)

第2条 この要綱において使用する用語は、法において使用する用語の例によるほか、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 外部の労働者等 通報対象事実又はその他法令違反等の事実に関係する事業者には雇用されている労働者又は通報の日前1年以内に当該労働者であった者、当該事業者が派遣先とする派遣労働者又は通報の日前1年以内に当該派遣労働者であった者、当該事業者の取引先の労働者又は通報の日前1年以内に当該労働者であった者、当該事業者の役員その他当該事業者の法令遵守を確保する上で必要と認められる者。
- (2) 外部公益通報 外部の労働者等が、通報対象事実が生じ、又はまさに生じようとしていると思料する場合若しくは通報対象事実が生じ、又はまさに生じようとしていると信じるに足りる相当の理由がある場合に、その旨を町に通報することをいう。
- (3) 通報対象事実 法第2条第3項に規定する通報対象事実又は町の条例、規則その他規定に違反する行為に関する事実若しくは事業者の法令遵守の確保及び適切な法執行に資する事実をいう。
- (4) 通報 前号に定める通報対象事実を知らせることをいう。
- (5) 相談 通報に先立ち、又はこれに関連して必要な助言を受けることをいう。
- (6) 受付 町に対してなされた通報及び相談（以下「通報等」という。）若しくは通報等への対応についての意見又は苦情（以下「意見等」という。）を受けることをいう。
- (7) 受理 町に対してなされた通報等について、調査又は法令等に基づく措置を行う必要性があるものとして受け付けることをいう。
- (8) 主管課 通報対象事実に係る事務を所掌する課等（通報対象事実の有無が不明な段階においては、通報の内容に係る事務を所掌する課等）をいう。

(組織体制)

第3条 町に対してなされる通報等の対応に関する事務を総括するため、総括通報等責任者を置くこととし、総務課長をもって充てる。

2 総括通報等責任者は、通報等への対応に関する規程類の整備、教育研修の実施、通報に関する調査の進捗等の管理、その他適切な対応の確保に関する事務を総括するものとする。

3 総括通報等責任者は、前項に規定する事務を通報等責任者に行わせることができるものとし、通報等責任者は主管課の課長をもって充てる。

(通報等責任者及び通報等担当者の事務等)

第4条 通報等責任者は、主管課において、通報に関する調査の進捗等の管理、その他適切な対応の確保に関する事務を掌理するものとする。

2 通報等責任者は、所管課の職員の中から、通報等担当者を指定する。

3 通報等担当者は、通報等責任者を補佐し、所管課における通報等の管理、通報者及び相談者(以下「通報者等」という。)との連絡その他の通報等への対応に関する事務を担当する。

(通報・相談窓口)

第5条 町に対してなされる通報等を一元的に取り扱うため、総務課に通報・相談窓口を置くこととし、総括通報等責任者がこれを総括する。

2 通報・相談窓口は次に掲げる事務を取り扱う。ただし、第1号から第3号までの規定は、通報・相談窓口を経由せずに主管課に対してなされた通報等及び意見等を主管課において、受け付けることを妨げない。

(1) 町に対してなされる通報等の受付に関すること。

(2) 町の通報等への対応についての意見等の受付に関すること。

(3) 通報者等との連絡調整に関すること。

(4) 主管課との連絡調整に関すること。

(受付範囲)

第6条 町は、外部の労働者等からの次に掲げる事実について通報を受け付けるものとする。

(1) 法第2条第3項に規定する通報対象事実(以下「通報対象事実」という。)

(2) 前号に定めるもののほか、法令及び町の区域内に適用される条例、規則その他の規程に違反する行為に関する事実(当該違反行為について処分又は勧告等をする権限を有する行政機関がある場合に限る。)

(3) 前2号に定めるもののほか、事業者の法令遵守等の確保及び法令等の適正な執行のために必要と認められるその他の事実

2 前項の規定により受け付けた通報等の内容について、処分又は勧告等をする権限を他の行政機関が有するときは、町は、当限を有する他の行政機関を通報者等に対し教示するものとする。

- 3 町は、通報等があったときは、法及び地方公共団体向けガイドラインの趣旨を踏まえ、誠実かつ公正に通報等に対応し、正当な理由なく通報等の受付又は受理を拒まないものとする。
- 4 町は、匿名による通報等についても、可能な限り、実名による通報等と同様の取扱いを行うよう努める。

(受付手続)

第7条 通報・相談窓口は、通報等を受け付けたとき、外部通報受付票(様式第1号)の内容に従い、通報等に関する秘密保持及び個人情報の保護に留意しつつ、通報等への対応に必要な事項を通報者等に確認するものとする。ただし、通報者等の同意が得られない場合など、確認に支障がある場合は、この限りでない。

- 2 通報・相談窓口は、通報等を受けたとき、次に掲げる事項を通報者等に説明するものとする。ただし、通報者等が説明を望まない場合、匿名による通報等であるため通報者等への説明が困難である場合などのやむを得ない理由がある場合は、この限りでない。(以下、次項、第11条、第13条第3項及び第14条第2項に規定する通知、次条第1項第2号に規定する教示、並びに第12条第1項に規定する教示及び資料の提供においても、同様とする。)

- (1) 通報等に関する秘密は保持されること。
- (2) 個人情報は保護されること。
- (3) 通報受付後の手続きの流れに関すること。

- 3 前2項において、書面、電子メール等、通報者等が通報等の到着を確認できない方法によって通報等がなされた場合には、通報等の到着を確認次第、通報等を受領した旨を通報者等に対し通知するよう努めるものとする。

(受付時の対応)

第8条 通報・相談窓口は、通報等を受け付けたときは、その内容により次の各号のいずれかの措置をとるものとする。

- (1) 適切な主管課に通報等を取り次ぐこと。
- (2) 町ではなく、他の行政機関が通報内容について処分又は勧告等をする権限を有する場合は、権限を有する他の行政機関を通報対象者等に対し教示すること。

- 2 前項第2号の場合において、通報者等からの通報等に個人の生命、身体、財産その他の利益に重大な影響を及ぼす可能性のある内容が含まれている場合には、通報等に関する秘密保持に留意しつつ、個人情報の保護に関する法令等に従い、権限を有する他の行政機関に通報等の内容について情報提供をすることができる。

(主管課における事実の聴取、受付等)

第9条 主管課は、通報者等から通報等の内容となる事実の詳細、その他必要な情報を聴取するものとする。

2 通報・相談窓口を経由せず、主管課が受け付けた通報等については、主管課において第7条及び第8条に規定する事務を行うものとする。この場合において、主管課は受け付けた内容を通報・相談窓口に連絡するものとする。

(受理手続)

第10条 主管課は、通報を受け付けた後、法及び地方公共団体向けガイドラインの趣旨並びに関係する法令等の規定及び所掌事務を踏まえて当該通報に関して調査又は措置を行う必要性について十分に検討し、これを受理するときはその旨(第3項の期間を設定した場合にはその期間を含む。)を、受理しないとき(情報提供として受け付けることを含む。)はその旨及びその理由を通報・相談窓口 to 回答する。

2 前項の場合において、通報等に関して調査又は措置を行う必要性について検討するにあたっては、通報等の内容に係る違法行為等が生じ、又は生じようとしていると信ずるに足りる相当の理由(以下「真実相当性の要件」という。)が、通報等の内容を裏付ける内部資料、関係者による供述等の存在のみならず、通報者本人による供述内容の具体性、迫真性等によっても認められ得ることを十分に踏まえ、柔軟かつ適切に対応するものとする。また、通報等が真実相当性の要件を満たしているかどうか直ちに明らかでない場合においても、個人の生命、身体、財産その他の利益に重大な影響を及ぼす可能性が認められる場合には、同様に対応するものとする。

3 主管課は、通報等を受理するときは、対応の手続きが終了するまでに必要と見込まれる期間を設定するよう努めるものとする。

(受理等の通知)

第11条 前条第1項の回答を受けた通報・相談窓口は、その内容を通報等を行った通報者に対し、通知するものとする。

(受理後の教示)

第12条 通報を受理した後において、主管課ではなく他の行政機関が処分又は勧告等をする権限を有することが明らかになった場合、主管課は、権限を有する他の行政機関を通報者に教示しなければならない。このとき、適切な法執行の確保及び利害関係人の営業秘密、信用、名誉、プライバシー等の保護に支障がない範囲において、作成した通報等に係る資料を通報者に提供することができる。

2 主管課は、前項の場合において、通報等に、個人の生命、身体、財産その他の利益に重大な影響を及ぼす可能性のある内容が含まれている場合には、通報に関する秘密保持に留意し

つつ、個人情報の保護に関する法令等に従い、権限を有する他の行政機関に情報提供をすることができる。

(調査の実施)

第13条 通報を受理した主管課は、通報等に関する秘密を保持するとともに、個人情報を保護するため、通報者が調査等の対象となる事業者及びその関係者に特定されないよう十分に留意しつつ、速やかに必要かつ適切と認められる方法で調査を行う。

2 総括通報等責任者及び通報等責任者は、調査の方法、内容等の適正性を確保するとともに、調査の適切な進捗を図るため、調査について適宜確認を行う等の方法により、通報事案を適切に管理する。

3 主管課は、適切な法執行の確保及び利害関係人の営業秘密、信用、名誉、プライバシー等の保護に支障がある場合を除き、調査の進捗状況を通報者に対し適宜知らせるとともに、調査結果を通知するものとする。

(調査結果に基づく措置)

第14条 主管課は、調査の結果、第6条第1項に掲げる事実があると認めるときは、速やかに措置をとらなければならない。

2 主管課は、前項の措置をとった場合には、その内容を適切な法執行の確保及び利害関係人の営業秘密、信用、名誉、プライバシー等の保護に支障がない範囲において、通報者に対し、通知するものとする。

(協力義務等)

第15条 町は、通報対象事実又はその他の法令等に違反する事実に関し、処分又は勧告等をする権限を有する行政機関が町の他にもある場合においては、他の行政機関と連携して調査を行い、措置をとる等、相互に緊密に連絡し協力する。

(秘密保持及び個人情報保護)

第16条 通報等への対応に関与した職員(通報等への対応に付随する職務等を通じて、通報等に関する秘密を知り得た者を含む。以下同じ。)は、通報等に関する秘密を漏らしてはならない。

2 通報等への対応に関与した職員は、当該対応手続きにおいて知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない。

3 通報等への対応に関与する職員は、通報等に関する秘密保持及び個人情報保護の徹底を図るため、通報等への対応の各段階(通報等の受付、教示、調査、措置及び通報者等への結果の通知。以下同じ。)及び通報者等への対応終了後において、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 情報を共有する範囲及び共有する情報の範囲を最小限に限定すること。
 - (2) 通報者等の特定につながり得る情報(通報者等の氏名、所属等の個人情報のほか、調査が通報を端緒としたものであること、通報者等しか知り得ない情報等を含む。以下同じ。)については、調査等の対象となる事業者及びその関係者に対して開示しないこと(通報対応を適切に行う上で真に必要な最小限の情報を、次号に規定する同意を取得して開示する場合を除く。)。
 - (3) 通報者等の特定につながり得る情報を、情報共有が許される範囲外に開示する場合には、通報者等の書面、電子メール等による明示の同意を取得すること。
 - (4) 前号に規定する同意を取得する際には、開示する目的及び情報の範囲並びに情報を開示することによって生じ得る不利益について、通報者等に対し説明すること。
- 4 主管課における通報等への対応に際する秘密保持及び個人情報の保護に関しては、前3項に定めるもののほか、個人情報の保護に関する法令等に従うものとする。

(利益相反関係の排除)

第17条 職員は、自ら又はその親族が当事者となっている案件に関する通報その他利益相反関係を有する案件についての通報等への対応に関与してはならない。

- 2 主管課は、通報等への対応の各段階において、通報等への対応に関与する者が当該通報に利益相反関係を有していないか確認するものとする。

(通報者等の保護等)

第18条 町は、通報対応の終了後においても、通報者からの相談等に適切に対応するとともに、通報等をしたことを理由として、事業者から解雇その他不利益な取扱いを受けていることが明らかになった場合には、消費者庁の公益通報者保護制度相談ダイヤル、各都道府県労働局等を紹介するなど、通報者等の保護に係る必要なフォローアップを行うよう努める。

(意見等への対応)

第19条 通報・相談窓口は、町における通報等への対応に関して通報者等から意見等の申出を受けたときは、適切に対応するよう努める。

- 2 前項の申出の内容が、通報等に関する秘密及び個人情報の漏洩、調査及び措置の遅滞等に関するものである場合には、通報・相談窓口は総括通報等責任者に報告する。総括通報等責任者は、速やかに主管課における対応状況を確認し、必要な措置をとるものとする。

(文書管理)

第20条 通報等への対応に係る記録及び関係資料については、文書管理に関する法令、村田町文書取扱規程(平成13年村田町訓令第8号)等に基づき、適切な方法で管理しなければならない。

(事業者及び労働者等への周知)

第 2 1 条 町は、区域内の事業者及び労働者等に対し、適切な方法により、通報・相談窓口、通報対応の仕組み等について周知するよう努めるものとする。

(委任)

第 2 2 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この訓令は、令和 8 年 7 月 1 日から施行する。